

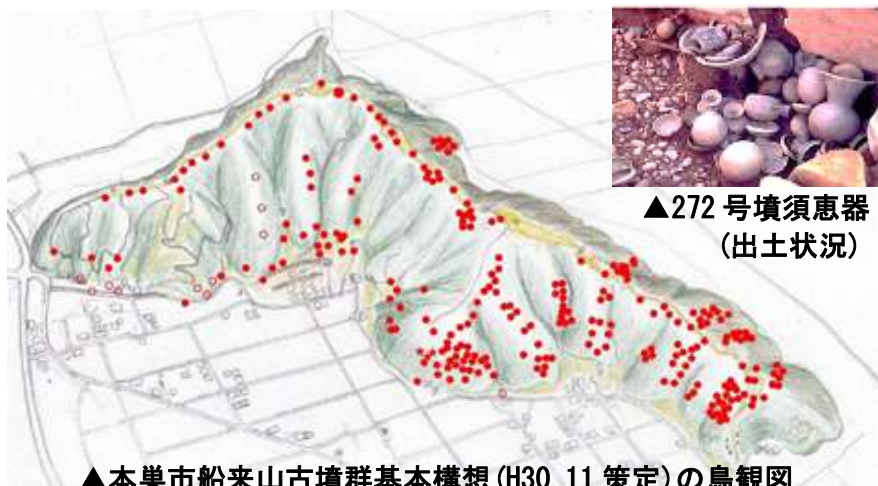
## 眉山と鎧塚

●眉山は、頼山陽が西栗野村に宿泊した際に「眉を引いたように優美な山」と命名したもの。まさに秀麗。

●鎧塚古墳は、眉山山頂 231m(標高差約 207m)にある全長 82m の前方後円墳。琴塚古墳より古い 4 世紀後半に築造。

【発行:令和 7 年 12 月 21 日/企画編集:岩野田北まちづくりサロン内(仮称)眉山と鎧塚古墳を学ぶ会】

第3回例会でテーマに取り上げた西郷地区と本巣市にまたがる船来山古墳群。290 基の古墳が確認されていて、発掘調査を進めた本巣市側 111 基が、平成 31 年に国指定史跡となっています。古墳数は 1,000 基とも言われ(本巣市古墳と柿の館ホームページ)、全国的にも最大級と言えます。本巣市は、保存活用のため、基本構想、基本計画を策定し、整備を進めています。【以下、本巣市 HP】



▲本巣市船来山古墳群基本構想(H30.11策定)の鳥観図



▲272号墳須恵器(出土状況)



▲墳長約 65m の前方後円墳の 5 号墳の墳丘上部にある柿畑石積みの跡



▲道の駅の東に位置【R7.11.4撮影】

### ●船来山古墳群整備基本計画(R5.3)の事業スケジュール

項目/期間	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)
船来山O支群基本設計										
現況地形測量										
駐車場と仮設トイレ予定地の用地交渉										
試掘確認調査										
工事に用道路予定地の現地測量										
第1期工区(d小支群)の実施設計										
第1期工区整備工事										
駐車場と仮設トイレ等の整備工事										
第2期工区(c小支群)の実施設計										
第2期工区整備工事										
第3期工区(a、b小支群)の実施設計										
第3期工区整備工事										
船来山O支群整備事業概算書作成										
計画部分改定・増補										
古墳と柿の館所管替え交渉・改修協議										
歴史体験ゾーンの整備(M・N・Q支群)										
ジョギングシューズコースの整備										
石室カルテ調査事業										
石切場・中世山城の跡縄跡分布調査										
未発掘調査古墳の範囲確認調査										
チェックシートによる自己点検										
各年度末に実施(継続)										

鎧塚古墳と同じ地域、同じ時代に築かれた  
最大級の群集墳を本巣市が整備へ



YOROI ちゃん





毎月第3日曜日、定例のまちづくりサロンに引き続き、「学ぶ会」の例会を開催しています。

第3回目となる11月19日、午前11時から、Q&A方式にまとめた資料で「そもそもお墓はいつ始まった?」、「そもそも古墳とは?」、「鎧塚古墳の前方後円墳とは?」など、基礎から学びました。

中でも、本巣郡に位置した船来山古墳群について注目!!

今後、**国の史跡指定の経緯**や**行政の取組**、**鎧塚古墳との関係性**など、研究テーマとして格好のモデルの一つとなりそうです。



▲本巣市側の船来山古墳群と「古墳と柿の館」【11.4撮影】

### 岩野田地域の古墳群 ～多くが消滅しました～

1,000の古墳があるとも言われる船来山古墳群(国内最大級は大阪柏原市の平尾山古墳群1,407基)の群集墳とまではいきませんが、岩野田地域にも古墳群があります。

ただし、栗野古墳群の3基を除き、それぞれに残存するのは1基のみです。各古墳から直刀、須恵器など出土品があります。



▲栗野古墳群  
(1番東側)  
【R5.10.20撮影】

▼西栗野古墳  
【R6.6.25撮影】



参考文献:「岐阜市史資料編 考古・文化財」

### コラム「琴塚古墳を守った地元の人」

琴塚古墳は5世紀に築造されたと推定されている前方後円墳で、全長115mは岐阜市内最大で岐阜県内でも最大級(第3位)の大きさを誇ります。

各務原市にかけて、4つの前方後円墳と70基ほどの円墳で構成される古墳群がありました。前方後円墳は、琴塚古墳と各務原市の柄山古墳(県史跡・全長91メートル)が残るのみですが、この地方には巨大な前方後円墳が築けるほどの豪族が存在していたと思われます。琴塚古墳はこの古墳群の中心をなしています。

開発の結果、古墳の多くは消滅。明治時代には、複数の個人の土地の琴塚古墳も開墾が進み消滅の危機に直面します。そんな時、地元の足立太助氏の夢の中に女性が現れて、すぐるよう助けを求めたそうです。県知事に事情を話したところ、考古学の先生や熱田神宮の調査で、第12代景行天皇のお妃様にあたる「五十琴姫命(いごとひめのみこと)」ないかとの結果を得ます(琴塚古墳の名の由来)。太助さんは所有者から土地を購入したり、ほかの土地と交換するなどし、2年かけて古墳全体の土地を買い取り、県に献上したのです。琴塚古墳は、昭和9年(1934)に国指定史跡に指定されました。



※写真:文化庁 <https://kunishitei.bunka.go.jp/heritage/detail/401/1267>

※本文:「ぎふプラザ」2012、2月号、岐阜東ロータリークラブHP